

デザイン工学専攻 (研 修 科 目)

1	デザイン工学専攻前期課程研修 GLD601	必修 6単位 1年前期～2年後期
Graduate Study on Industrial Design for the Master' Course		
全教員		
授 業 形 態		
授業の達成目標		
修士論文・修士制作の作成に必要な専門的な知識を総合的に修得するとともに、論文・制作のテーマに関連した既往の研究、現状の研究動向などを理解する。また、修士論文・修士制作の研究遂行と、論文・制作の取りまとめに必要な技術と知識を修得する。		
授 業 の 概 要		
関連学会の紹介、関連論文誌、ジャーナル、作品集などの紹介、既往の研究、最新の研究動向の解説、研究手法の説明、文献収集・分析の実習、調査とその分析と評価、研究内容の学内及び学外でのプレゼンテーション実習		
授 業 計 画		
本研修科目は大学院生個々に対して修士論文・修士制作作成の指導を行う大学院担教員が担任する授業科目として開講される。したがって、本研修科目は当該教員が所属する研究分野（大学院教員組織参照）に応じた授業計画により実施される。授業はゼミナール、実習、調査・実測、プレゼンテーションなどの多彩な形態をとり、授業日も時間割に捕らわれないで、集中講義、学内外の発表会での時間などの効果的方式により、適宜、受講大学院生と担任教員との都合のよい時間帯を利用して展開される。各大学院生は本研修科目を履修するに当たり、担当教員と十分に協議して1年間の履修計画を立てること。その他、本研修科目の履修に必要なことは担当教員の指示を得ること。		
教科書・参考書等		
教科書、参考書は担当教員に指示を受けること。関係学会の情報に関する資料、研究論文および最新の学術誌のコピーなどはその都度、担当教員が配布する。		
成績評価方法・基準		
授業中の質疑および課題レポート 60%、学内および学外での発表内容 40%で総合的に評価する。		

2	インダストリアルデザイン論 GLD511	選択 2単位 後期	
Theory of Industrial Design			
教授 梅田 弘樹			
授業形態	単独 (1人が全回担当)		
授業の達成目標	現代社会における工業デザインの意義についての、現実的かつ独創的思想を築くための下地となる知識を身につける。またそれを応用するために、現実の中から問題を見つけ出し、解決するための実践力を身につける。		
授業の概要	ヨーロッパを中心とするモダンデザインから今日の最新事例までの文献調査と実物の取材、その報告とディスカッションを通して、それらのデザインに込められた時代的社会的メッセージを読み解く。また、計2回のワークショップでは、思索の成果を具体的なデザイン提案として実体化する。		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容	授業方法及び学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	ガイダンス	時事情報に気を配り、社会とデザインの関連について考える習慣をつける。配布資料などを確認して復習する。	4
第2回	モダンデザインの思想1 - Dieter Rams [良いデザインのための10ヶ条] より [技術・機能・合理性]	関連するキーワードについて調べておく。配布資料などを確認して復習する。	4
第3回	モダンデザインの思想2 - Dieter Rams [良いデザインのための10ヶ条] より [誠実さ・貫性・ミニマリズム]	関連するキーワードについて調べておく。配布資料などを確認して復習する。	4
第4回	モダンデザインの思想3 - Jasper Morrison [公共のデザイン]	関連するキーワードについて調べておく。配布資料などを確認して復習する。	4
第5回	モダンデザインの思想4 - Jasper Morrison [ユーティリズムとユースレスニズム]	関連するキーワードについて調べておく。配布資料などを確認して復習する。	4
第6回	モダンデザインの思想5 - 柳宗理 [アノニマスデザイン]	関連するキーワードについて調べておく。配布資料などを確認して復習する。	4
第7回	ワークショップ1:現代に生きる「モダニズム」	関連するキーワードについて調べておく。調査・考察結果をレポートにまとめる。	4
第8回	「ポストモダン」	関連するキーワードについて調べておく。配布資料などを確認して復習する。	4
第9回	デザイン見本市・デザインメディア・スターデザイナー	関連するキーワードについて調べておく。配布資料などを確認して復習する。	4
第10回	世界から見た J A P A N デザイン	関連するキーワードについて調べておく。配布資料などを確認して復習する。	4
第11回	現代のデザイン思想1 - 原研哉 [デザインのデザイン] より [デザインの発生]	関連するキーワードについて調べておく。配布資料などを確認して復習する。	4
第12回	現代のデザイン思想2 - 原研哉 [デザインのデザイン] より [モダニズムのその先へ]	関連するキーワードについて調べておく。配布資料などを確認して復習する。	4
第13回	デザインの社会的意義	関連するキーワードについて調べておく。配布資料などを確認して復習する。	4
第14回	ワークショップ2:「公共」の視点からの製品デザイン	関連するキーワードについて調べておく。調査・考察結果をレポートにまとめる。	4
第15回	まとめと試験	これまでの授業の配布資料などを確認しておく。試験問題のわからなかったところを調べる。	4
教科書・参考書等			
[Jasper Morrison Everything but the Walls] Lars Muller Publishers 2006 [柳宗理エッセイ] 柳宗理著 平凡社 2003 [デザインのデザイン] 原研哉著 岩波書店 2003			
成績評価方法・基準			
授業中のディスカッション、課題レポート、まとめの試験を総合的に評価する。			

デザイン工学専攻 (専門科目)

3	地域産業デザイン論 I	GLD512	選択 2単位 前期
	Theory of Regional Industry I		
教授 菊地 良覺			
授業形態	単独 (1人が全回担当)		
授業の達成目標	実例資料を読解し、問題点を整理して把握する能力の習得を図るとともに、その問題解決のための技術者・デザイナーとして身につけるべき方策立案能力の涵養を目指す。		
授業の概要	【地域志向科目に該当】 地域産業は、地域資源を十分に活かし、地域の暮らしを豊かにし、経済の域内循環を促し、地域の自律的発展に大きな役割を果たす。本論では、1978年より本学のチームが継続して「大野村方式」と専門家より定式化された実践研究事例について、スライド・現物・図面・各報告書等を用いて詳述する。		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容	授業方法及び学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	地域資源を地域の暮らしと生産に活かす地域産業－地域自律の方途の一つ－	予習：地域資源に関するデータを収集しておくこと 復習：地域資源の意味を再度確認しておくこと	4
第2回	コミュニティ機能再生・増幅のための「裏作芸」導入の前史 －「一村一品運動」から「一人一芸の村」計画へ/第三生産技術研究室の実践－	予習：岩手県大野地域に関する情報を収集しておくこと 復習：何故東北地域を対象としたかを再確認しておくこと	4
第3回	岩手県旧大野村での「一人一芸の村」計画の実践1 －「裏作芸」導入による「ひと」づくり－	予習：ひとづくりの意味を熟考しておくこと 復習：何故人づくりが必要なのかを再確認しておくこと	4
第4回	岩手県旧大野村での「一人一芸の村」計画の実践2 －「裏作芸」導入による「もの」づくり－	予習：モノづくりからの実践がなぜ必要なのかを熟考しておくこと 復習：工芸的手法によるモノづくりに関して再確認しておくこと	4
第5回	岩手県旧大野村での「一人一芸の村」計画の実践3 －「裏作芸」導入・展開のための「拠点施設」づくり－	予習：拠点施設の事例を多くひも解いておくこと 復習：拠点施設の性格付け方に関して再確認しておくこと	4
第6回	岩手県旧大野村での「一人一芸の村」計画の実践4 －工芸の世界を拓げる周辺施設の展開－	予習：周辺地域への波及効果を持つ事例をひも解いておくこと 復習：周辺地域への波及方法に関して再確認しておくこと	4
第7回	北海道常呂郡置戸町の「白いクラフト」 －社会教育による「もの」づくりから街づくりへの展開－	予習：置戸町に関する基礎資料を収集しておくこと 復習：社会教育の町と言われた置戸が何故工芸的な導入したかを再確認しておくこと	4
第8回	北海道帯広市での「もの」づくりから街づくりへの展開	予習：帯広に関する基礎資料を収集しておくこと 復習：帯広が何故モノづくりにが必要としたかを再確認しておくこと	4
第9回	宮城県旧津山町・旧鳴子町・旧雄勝町等の地域資源を生かした新商品の開発	予習：津山・鳴子・雄勝の基礎資料を収集しておくこと 復習：各産地の資源と特徴と商品開発に関する考え方を再確認しておくこと	4
第10回	地域企業の技術を活かした地域環境形成のための商品展開事例 －「仮設ハウス」「コンクリート2次製品」「高温高圧乾燥材」等－	予習：地域企業に関する基礎資料を収集しておくこと 復習：紹介した企業の特徴を再確認しておくこと	4
第11回	北海道・東北地方のクラフト商品の流通機構 HOCCOの試み	予習：地域資源活用型の流通に関する基礎資料を収集しておくこと 復習：何故商品開発において流通試行が必要かを再確認しておくこと	4
第12回	「つながりを大切に、地元資源を活かし続ける町」1 －宮城県山元町総合計画とその前史としての「リファブリ田の字」の30年－	予習：山元に関する基礎資料を収集しておくこと 復習：総合計画の前史と取り組み方を再確認しておくこと	4
第13回	「つながりを大切に、地元資源を活かし続ける町」2 －宮城県山元町総合計画 その狙いと策定過程－	予習：総合計画がなぜ必要なのかを熟考しておくこと 復習：総合計画の策定手法を再確認しておくこと	4
第14回	「つながりを大切に、地元資源を活かし続ける町」3 －宮城県山元町総合計画 策定後の展開－	予習：総合計画の特徴を再確認しておくこと 復習：総合計画のもとで具現化した施策を再確認しておくこと	4
第15回	まとめ 地域資源は時間・空間・人間軸上の全て	予習：地域資源活用することから「時間・空間・人間」が何故不可欠かを熟考しておくこと 復習：これまでの各講義に関して再確認しておくこと	4
教科書・参考書等			
テキスト (自作) の配布物・大野村裏作芸～一人一芸の村への記録～ (コミュニティ機能再生・増幅のための『裏作芸』導入のための実践的研究－東北工業大学工業意匠学科第3生産技術研究室)・山元町総合計画 (宮城県山元町)・グローバル時代をどう生きるか (遠州尋美・法律文化社)			
成績評価方法・基準			
授業中の質疑および課題レポートで総合的に評価する。			

デザイン工学専攻 (専門科目)

4	地域産業デザイン論Ⅱ GLD513		選択 2単位 後期
	Theory of Regional Industry II		
教授 菊地 良覺 (11～15回) 准教授 佐藤 飛鳥 (1～10回)			
授業形態		オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)	
授業の達成目標		地域の活性化を図るには、伝統産業やその地域で発展している産業、さらにはこれから地域産業として発展させることを目的として、新産業を育成することが必要である。「地域の文化や特性を生かした産業デザイン」を行うためには、地域の持つ風土・歴史を理解し、その産業分野全体の状況、地域特性や競争優位、将来性などを検討し、戦略的に関係者を集めネットワーク化を図って産業を育成していく必要がある。本講義では地域産業の創生、育成のために行われている事例紹介を通して理論やプロセスを学習し、地域産業をデザインし、発展させる方法を身に付ける。	
授業の概要		【地域志向科目に該当】	
前半の講義部分では文部科学省知的クラスター創成事業金沢地域の事例を基に、新産業を創出していく際のプロセスや理論、留意点などをレクチャーする。後半のフィールドワークでは伝統産業に関し、実地で地域産業に触れ、両者を合わせて総合的に地域産業のデザイン力をつける。			
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容	授業方法及び学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	ガイダンス：地域産業デザインとは	予習：宮城県か出身地の地域産業を調べる 復習：宮城県か出身地の地域産業振興策を考える	4
第2回	事例紹介：文部科学省知的クラスター創成事業金沢地域	予習：文部科学省知的クラスター創成事業について、ホームページを熟読する。 復習：紹介する参考文献を読む	4
第3回	新産業創出のための地域特性把握	予習：宮城県の既存産業を調べ、基礎統計を確認する 復習：新産業候補を選定する	4
第4回	競争優位の確認：地域資源と人材、新産業の将来性	予習：注目した新産業の地域資源と、キーパーソンとなる人材を洗い出す 復習：注目した新産業のニーズや市場規模をまとめる	4
第5回	補助金の獲得：ステークホルダーの確認と役割、ミッションの共有、申請書作成の留意点	予習：注目した新産業の特徴や、競争優位、経済価値などを列挙する 復習：申請書でアピールするポイントを洗い出す	4
第6回	実施体制：キャッシュフロー、研究計画と進捗管理、成果報告会	予習：注目した新産業で産官学連携を行うと想定し、必要な組織や人材を列挙する 復習：必要な組織や人材を確定する	4
第7回	地域産業化：関連企業や人材のネットワーク化とルール策定	予習：産官学連携を通して新産業を振興していく際に必要なルールを考える 復習：関連企業やキーパーソンのネットワークマップを作成する	4
第8回	マーケティング戦略：研究成果やコンセプトの外部公表、プロモーション	予習：新産業のコンセプトをまとめる。 復習：コンセプトをプロモーション用にブラッシュアップする。	4
第9回	これまでのまとめとレポート作成にあたって	予習：講義内での質疑やワークを整理してレポートに活かす。 復習：レポートをまとめる。	4
第10回	レポートのプレゼンテーション	予習：レポートの口頭発表の準備をする (パワーポイントやハンドアウトなどのプレゼン資料を作成してもよい)。 復習：指摘された箇所、うまくいかなかった箇所をまとめなおす。	4
第11回	フィールドワーク	予習：調査地域についての事前調査をしておく。 復習：調査結果、データをまとめる。	4
第12回	フィールドワーク	予習：調査地域についての事前調査をしておく。 復習：調査結果、データをまとめる。	4
第13回	フィールドワーク	予習：調査地域についての事前調査をしておく。 復習：調査結果、データをまとめる。	4
第14回	フィールドワーク	予習：調査地域についての事前調査をしておく。 復習：調査結果、データをまとめる。	4
第15回	フィールドワーク	予習：調査地域についての事前調査をしておく。 復習：調査結果、データをまとめる。	4
教科書・参考書等			
(前編) 指定しない。適宜紹介する。 (後編) 創造都市への挑戦 (佐々木雅幸・岩波書店)・創造都市への展望 (佐々木雅幸+総合研究開発機構・学芸出版)・日本版コンパクトシティ (鈴木弘・学陽書房)・風土の発見と創造 (三澤勝衛・農山漁村文化協会)			
成績評価方法・基準			
授業中の質疑 20%、課題レポートと口頭発表 50%、フィールドワークに関する最終レポート 30%で総合的に評価する。			

5	インタラクションデザイン計画 I	GLD514	選択 2単位 前期
	Interaction Design I		
教授 両角 清隆			
授業形態	単独 (1人が全回担当)		
授業の達成目標	ICT (Information & Communication Technologies) を利用して豊かな生活を支援するためには、人工物 (ツール・システム) とそのユーザーとの相互作用 (インタラクション) を適切にデザインしなければならない。そのデザインを進めていく方法を自ら考えられるようにする。		
授業の概要	インタラクションデザイン (ID) を進める上で理解していなければならないプロセス、特に人々の活動を適切にとらえ、ツール・システムとして具体化していく技術について、関連する文献、ケーススタディを通して習得する。		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容	授業方法及び学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	デザインにおけるプロセスの意義	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第2回	デザイン分野の違いによるデザインプロセスの違い	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第3回	IDにおけるデザインプロセス (従来の技術)	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第4回	IDにおけるデザインプロセス (最新の技術)	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第5回	IDにおけるデザインプロセス (課題)	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第6回	ビジネスの活動を理解する	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第7回	コミュニティの活動を理解する	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第8回	目標・価値を探る	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第9回	目標・価値を形作る	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第10回	活動のパターンを発見する	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第11回	活動のパターンと価値との関係をとらえる	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第12回	デザインのパターンを形作る方法	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第13回	デザインのパターンの例 (コミュニティ活動)	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第14回	目標の具体化の方法	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第15回	まとめと試験	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
教科書・参考書等			
適宜、関連する書籍、資料、研究論文および最新の学術誌のコピーを配布する。			
成績評価方法・基準			
授業中の質疑および課題レポート 50%、まとめの試験 50%で総合的に評価する。			

6	インタラクションデザイン計画Ⅱ GLD515		選択 2単位 後期
	Interaction Design Ⅱ		
教授 両角 清隆			
授業形態		単独 (1人が全回担当)	
授業の達成目標		ICT (Information & Communication Technologies) を利用して豊かな生活を支援するためには、人工物 (ツール・システム) とそのユーザーとの相互作用 (インタラクション) を適切にデザインしなければならない。そのための、ユーザーが理解しやすい“情報の形”について考察する。	
授業の概要		インタラクションデザインを進める上で理解していなければならない、ユーザーの認知やそれに関連する表現、また実現するために関係するICTに関する動向について、関連する文献、ケーススタディを通して習得する。	
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容	授業方法及び学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	活動中の情報	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第2回	情報のとらえ方	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第3回	経験と理解 (総論)	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第4回	経験と理解 (実態世界)	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第5回	経験と理解 (デジタル世界)	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第6回	情報の歴史 (第一の波)	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第7回	情報の歴史 (第二の波)	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第8回	情報の歴史 (第三の波)	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第9回	現代の情報デザインの課題	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第10回	情報を形作る技術 (総論)	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第11回	情報を形作る技術 (視覚)	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第12回	情報を形作る技術 (マルチメディア)	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第13回	情報を支える技術 (コンピューター)	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第14回	情報を支える技術 (インターネット)	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第15回	まとめと試験	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
教科書・参考書等			
適宜、関連する書籍、資料、研究論文および最新の学術誌のコピーを配布する。			
成績評価方法・基準			
授業中の質疑および課題レポート 50%、まとめの試験 50%で総合的に評価する。			

7	情報メディア論 GLD516		選択 2単位 前期
	Theory of Information and Media		
教授 堀江 政広			
授業形態		単独 (1人が全回担当)	
授業の達成目標		メディア論の基礎を理解し、現代のメディア社会を構造的にとらえ、デジタル・メディアのデザインをする上で必要となる実践的な知を身につけること。	
授業の概要		情報デザインをする上で、メディアの特性を理解することが重要である。メディアの歴史と理論を踏まえ、次に21世紀のデジタル・メディアと社会をとらえる。そしてデジタル・メディアの可能性と課題を検討し、そのデザイン課題について検討する。	
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容	授業方法及び学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	情報とメディア	予習：メディアと情報の定義について調べる。復習：配布資料などを確認して復習する。	4
第2回	メディア論	予習：マーシャル・マクルーハンについて調べる。復習：配布資料などを確認して復習する。	4
第3回	19世紀のメディア (電信、電話、無線、ラジオ)	予習：電信、電話、無線、ラジオについて調べる。復習：配布資料などを確認して復習する。	4
第4回	20世紀のメディア (ラジオ、テレビ)	予習：ラジオ、テレビについて調べる。復習：配布資料などを確認して復習する。	4
第5回	20世紀のマスメディア (新聞、放送)	予習：新聞、放送について調べる。復習：配布資料などを確認して復習する。	4
第6回	21世紀のデジタル・メディア (インターネット、ケータイ)	予習：インターネット、ケータイについて調べる。復習：配布資料などを確認して復習する。	4
第7回	21世紀の市民メディア	市民メディアについて調べる。復習：配布資料などを確認して復習する。	4
第8回	モバイル・メディアと身体	モバイル・メディアについて調べる。復習：配布資料などを確認して復習する。	4
第9回	メディア・リテラシー	メディア・リテラシーについて調べる。復習：配布資料などを確認して復習する。	4
第10回	メディアと情報デザイン	情報デザインについて調べる。復習：配布資料などを確認して復習する。	4
第11回	メディア・アート	予習：メディアアートについて調べる。復習：配布資料などを確認して復習する。	4
第12回	グローバル・メディア (アニメ、ゲーム)	予習：アニメ、ゲームについて調べる。復習：配布資料などを確認して復習する。	4
第13回	ローカル・メディア (エスニック・メディア)	予習：エスニック・メディアについて調べる。復習：配布資料などを確認して復習する。	4
第14回	実践ワークショップ	予習：メディア研究での実践ワークショップについて調べる。復習：配布資料などを確認して復習する。	4
第15回	まとめ	予習：第1回から第14回までの授業を統合的に考察する。復習：配布資料などを確認して復習する。	4
教科書・参考書等			
適宜、関連する書籍、資料、研究論文および最新の学術誌の紹介、もしくはコピーを配布する。			
成績評価方法・基準			
授業中の質疑および課題レポートを総合的に評価する。			

デザイン工学専攻 (専門科目)

8	デザイン戦略論 GLD517	選択 2単位 前期	
Design Strategy			
教授 坂手 勇次			
授業形態	単独 (1人が全回担当)		
授業の達成目標	企業活動において効果的なデザイン戦略を構築するための基礎的スキルを身につけることを目指す。		
授業の概要	デザインを経営資源として位置付けた上で、企業経営におけるデザインに求められる役割と価値を確認するとともに、実際の企業活動におけるデザイン戦略に関するケーススタディを通じて、実践的な理論や手法を学ぶ。		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容	授業方法及び学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	ガイダンス	関連する事項を調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第2回	デザイン戦略の概要	関連する事項を調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第3回	ライフスタイル提案とデザイン	関連する事項を調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第4回	マーケティングとデザイン	関連する事項を調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第5回	ブランドとデザイン	関連する事項を調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第6回	インタangibleバリューとしてのデザイン価値評価	関連する事項を調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第7回	デザインマネジメントとデザイン組織	関連する事項を調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第8回	ケーススタディ① 経営戦略	関連する事項を調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第9回	ケーススタディ② デザイン戦略	関連する事項を調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第10回	ケーススタディ③ 新規事業戦略	関連する事項を調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第11回	ケーススタディ④ 技術戦略	関連する事項を調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第12回	ケーススタディ⑤ 知的財産戦略	関連する事項を調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第13回	ケーススタディ⑥ デザイン思考	関連する事項を調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第14回	演習 デザイン思考の概要	関連する事項を調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第15回	演習 デザイン思考の実践	関連する事項を調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
教科書・参考書等			
特になし 適宜必要に応じて参考資料等を配布			
成績評価方法・基準			
授業中の質疑および提出を課すレポート 50%、課題発表 50% で評価する。			

デザイン工学専攻 (専門科目)

9	環境造形計画 GLD521	選択 2単位 前期	
Environmental Design			
教授 大沼 正寛			
授業形態	単独 (1人が全回担当)		
授業の達成目標	自然や人間社会が織りなす有形事象「風景」のかたち・しくみを捉える感受・探究能力を涵養し、そうした環境に照らしながら、自らが拠って立つ建築・工芸・プロダクト・事業デザインその他の造形手法を磨くことを目標とする。		
授業の概要	【地域志向科目に該当】 環境造形たる古今東西の有形事象のかたち・しくみを探究するテーマ・レクチャと、デザイン実習によってそれを修得・鍛錬するスキル・ワークを車の両輪とする。担当教員の専門は建築分野であり、「風景論/場所論」を軸に講義を展開するが、受講者が専門とするデザインの対象や手法は限定しない。		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容	授業方法及び学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	ガイダンス デザインと思想	予習として、専攻分野に関する参考文献を各自選び通読しておく。また、近代デザイン史と空間系現象学の重要人物史について講義内容を復習する。	4
第2回	テーマ・レクチャ 01 都市の環境造形	予習として、仙台および国内各地の地方都市に関する地図を下見しておく。また、公共空間に関する講義内容と紹介事例について復習する。	4
第3回	テーマ・レクチャ 02 建築の環境造形	予習として、身の回りの住環境のなかで評価に値する建築の事例を想起できるよう考察しておく。復習として、建築造形の評価に関する要点を体得する。	4
第4回	スキル・ワーク 01 石積みの風景	予習として、身の回りの住環境における石積みの事例を想起できるようにしておく。また、組石造に関する基礎的な講義内容を復習する。	4
第5回	スキル・ワーク 02 木組みの風景	予習として、身の回りの住環境における伝統木造建築物を想起できるようにしておく。また、木組み・木割に関する講義の要点を復習する。	4
第6回	テーマ・レクチャ 03 建築計画・都市計画	予習として、住宅から公共物まで、建築の類型を整理しておく。復習として、建築基準法および都市計画法の関連部分を復習する。	4
第7回	テーマ・レクチャ 04 住宅計画・福祉計画	予習として、住環境の歴史に関する学部講義内容を復習しておく。講義の復習として、福祉住環境のデザイン要点を反すうしておく。	4
第8回	スキル・ワーク 03 インテリア	予習として、現代住宅系インテリアを構成する材料について想起・列挙しておく。また、講義後は身の回りのインテリア構成と知識内容を照合する。	4
第9回	スキル・ワーク 04 エクステリア	予習として、東北の植生および植栽について関連文献を通読しておく。また、講義後は身の回りのエクステリア構成と知識内容を照合する。	4
第10回	テーマ・レクチャ 05 祈りの空間/集いの空間	予習として、個人情報に留意しながら、とくに先祖拝礼について個々人の考えをまとめておく。講義後は、東北の住まいの宗教観について復習する。	4
第11回	テーマ・レクチャ 06 東北史・東北論	予習として、東北史に関する関連文献を通読しておく。講義後は、ディスカッションの内容を各自議事要録にまとめ、反すうする。	4
第12回	スキル・ワーク 05 生活者の風景	予習として、自分・親・祖父母の一日の生活スケジュールを簡単な表にまとめておく。また、生産の風景に関する講義内容を復習する。	4
第13回	スキル・ワーク 06 緑水土の風景	予習として、国内外で評価されている風景に関する情報を予備調査しておく。また復習として、評価されている風景における緑の効果と維持管理について考察する。	4
第14回	学習内容のとりまとめ・ポスター制作	予習として、専攻分野に関するビジュアル・プレゼンテーションの好例を選定しておく。復習として、模範例に学びながら、とくに考察を深めた内容をパネル化する。	4
第15回	ポスターセッション	予習として、制作したパネルを用いて効果的に表現伝達できるよう準備しておく。復習として、自他のプレゼンテーションを評価して今後の能力向上について考える。	4
教科書・参考書等			
指定しない。適宜紹介する。			
成績評価方法・基準			
最終的にとりまとめたポスターと、それを用いた口頭発表をもとに、理解度合・考察内容を総合的に評価する。			

10	エコロジカル環境設計論 GLD522	選択 2単位 後期
Ecological and Environmental Design		
教授 武山 倫		
授業形態	単独 (1人が全回担当)	
授業の達成目標	エコロジカルデザインの基礎概念と時代的・世界的・社会的背景を理解し、広い視点から身近な環境について見つめ直す視点を獲得。また、持続可能性に裏付けられた視座をもって、問題解決に向けた具体的な提案ができることを目標とする。	
授業の概要	バウビオロギー、エコロジカルデザインなど、環境建築の事例研究を中心に概説し、とくにパッシブデザインと呼ばれる具体的な手法について解説する。また、民家やヴァナキュラーな建築を通して、時代背景と省エネ、低炭素社会の実現など、時間軸からみたさまざまなソリューションとその背景について考える。	
授業計画 (各回の学習内容等)		
学習内容	授業方法及び学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回 デザインとは何か	予習:本講義の前提として「デザイン」の役割について考える。復習:さまざまなモノに潜む「デザインの意図」、次代を担い、新しい価値を生み出すデザインの可能性について考える。講義をもとにエコロジカル環境設計の必要性を再考する。	4
第2回 環境建築の歴史	予習:「沈黙の春」「成長の限界」など環境問題に警鐘を鳴らしてきたエポックについて予習する。復習:環境問題を年表で把握し、現在のソリューションの背景と位置づけを確認する。さらに長期的展望を持つとき何が必要かを考える。	4
第3回 リデュース (Reduce)、リユース (Reuse)、リサイクル (Recycle)	予習:身近な「エコロジカル」な工夫を見出ししておく。復習:「もったいない」をキーワードに、身近なところの3R (スリーアール)、リデュース (Reduce)、リユース (Reuse)、リサイクル (Recycle) を考え、環境負荷について再考する。	4
第4回 建築家なしの建築	予習:「Vernacular」と呼ばれる建築について情報収集する。復習:気候風土を共有する環境建築のあり方から、現在の技術と材料で何が可能か考える。景観・修景デザインの視点から環境に対して「エコロジカル環境設計」に何が可能か考える。	4
第5回 世界の民家	予習:「Vernacular」と呼ばれ、気候風土を共有する景観について情報収集する。復習:各地で保存されている伝統的建築から学んだことを、現在の知識と技術と材料でどのように翻訳できるか、コンテキストについて考える。	4
第6回 これまでのまとめ	予習:第5回までの授業を振り返り次の学習目標をたてる。復習:これまでに考えたことをまとめることで学習してきたことを整理し、第7回以降に続く、ディテールを学ぶ備えとする。レポートを作成する。	4
第7回 気候風土の把握	予習:気候風土≠「環境」を定量的に把握する手法である「気候分析」について情報収集する。復習:身近な環境を数値把握することで、未知の世界をイメージする力を養う。パソコンによるシミュレーションを復習する。	4
第8回 エコハウス	予習:解りやすい「エコロジカル環境設計」の事例としてエコハウスについて情報収集する。復習:エコハウスと称されるモノと、そうでないものの違いを理解することから「エコロジカル環境設計」の使命と役割を再考する。	4
第9回 バウビオロギー・バウエコロジー	予習:世界の潮流のひとつとして、ドイツのバウビオロギーについて情報収集する。復習:気候風土の違いを超えて、さまざまな地域での活動があることを知り、それらをコピーするのではなく何を問題としているか先進事例から考える。	4
第10回 エコロジカルデザイン	予習:世界の潮流のひとつとして、米国シム・ヴァン・ダーリンのエコロジカル研究所の考え方について情報収集する。復習:気候風土の違いを理解したうえで先進事例に学びそれを応用する力を養うため、講義内容を再考する。	4
第11回 パッシブデザイン	予習:日本における「エコロジカル環境設計」の事例を探す。復習:身近な事例からリアルな計画をイメージし、その工夫の要点について考える。	4
第12回 これまでのまとめ	予習:第7回から第11回までの学習内容を復習しておく。復習:気候風土の異なる海外の事例と、これまでに学習してきた身近な環境にある伝統建築から学んだことを整理して具体的に計画提案をまとめる。	4
第13回 【実践】 出題する課題の解説	予習:「エコロジカル環境設計」の実践トレーニングとして、学生相互の意見交換、議論を行うため、その準備しておく。復習:課題の意図とデザインの可能性についてプレーストーミングを行う授業内容を振り返り、復習を重ねる。	4
第14回 【議論】 各自のソリューションの発表	予習:課題に関して各自が考えてきたことを発表できるよう準備する。復習:学生による相互の質問、コメントをもとに、次週の課題発表に向けて各自の課題を確認し、改善検討をすすめる。	4
第15回 【発表】 課題発表	予習:各自のエコロジカルデザイン提案をまとめておく。復習:各自の発表をもとに相互評価を行い、これを反すうする。	4
教科書・参考書等		
指定しない。講義毎にハンドアウトを提供する。他、参考書を推薦する。		
成績評価方法・基準		
100点満点で評価する。毎回、講義+レポート記入時間で授業を構成し、最終課題の満点を50点とする。提出されたレポートの内容理解度にもとづく得点を合計し、総合的見地から成績評価を行う。		

11	造形構成論 GLD523		選択 2単位 前期
	Construction of Arts, Crafts and Modeling		
教 授 武山 倫 非常勤講師 高木 純一			
授 業 形 態	オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)		
授業の達成目標	生活環境における造形要素を分析する視点や工芸・アートを理解する力を身につけ、自らの造形構成力を高める。		
授 業 の 概 要	地域・都市における工芸・建築・ランドスケープといった諸領域における造形物がどのような構成要素で成り立っているか、またどのような歴史文化と関わっているのかを学習・分析・批評するとともに、創造者の一人としての眼をもち、状況改善に資する造形的工夫のあり方を考察する。		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容	授業方法及び学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	空間・場所・環境と造形	予習：空間・場所・環境に関わる書籍を読んでおく。 復習：授業内容を反芻しノートにまとめておく。	4
第2回	学術諸分野と造形	予習：科学研究の諸分野と造形意匠の関係性を予習しておく。 復習：授業内容を反芻しノートにまとめておく。	4
第3回	素材と造形	予習：身の回りの生活用具とその素材名を10例挙げる。 復習：授業内容を反芻しノートにまとめておく。	4
第4回	道具の造形	予習：使われなくなった昭和の道具について調べておく。 復習：紹介した諸々の事柄について確認・復習しておく。	4
第5回	祭りと造形	出身地の祭りについて調べておくこと。紹介した諸々の事柄について確認・復習しておくこと。	4
第6回	劇場空間と造形	歌舞伎について調べておくこと。紹介した諸々の事柄について確認・復習しておくこと。	4
第7回	都市の中の造形	国内のリノベーション物件について調べておくこと。紹介した諸々の事柄について確認・復習しておくこと。	4
第8回	現代美術の流れ	ベンヤミンの「複製技術時代の芸術作品」を読んでおくこと。紹介した諸々の事柄について確認・復習しておくこと。	4
第9回	日本の美術運動	リボンアート展について調べておくこと。紹介した諸々の事柄について確認・復習しておくこと。	4
第10回	海外の美術運動	ポップアートについて調べておくこと。紹介した諸々の事柄について確認・復習しておくこと。	4
第11回	地域と工芸	自らが関係した地域の工芸品について調べておくこと。紹介した諸々の事柄について確認・復習しておくこと。	4
第12回	日本の民芸運動	日本の民芸運動について調べておくこと。紹介した諸々の事柄について確認・復習しておくこと。	4
第13回	美術工芸と素材	関心ある美術工芸作品を選び、その素材について調べておくこと。紹介した諸々の事柄について確認・復習しておくこと。	4
第14回	美術工芸と技能	関心ある美術工芸作品を選び、その技能について調べておくこと。紹介した諸々の事柄について確認・復習しておくこと。	4
第15回	まとめ	今までの講義をふまえプレゼンテーション資料を作っておくこと。授業中の指摘箇所を改善しレポートにまとめること。	4
教科書・参考書等			
講義中に紹介する			
成績評価方法・基準			
課題レポートにより評価する。			

12	色彩調和論 GLD524	選択 2単位 後期	
	Theory of Color harmony		
准教授 盧 慶美			
授業形態	単独 (1人が全回担当)		
授業の達成目標	デザインをする上で必要な色彩の表現力や配色技術を習得する。		
授業の概要	私たちの生活と密接な関係をもつ色彩。本講義では、色彩の表現力や配色技術を習得するのみならず、その由来や文化的な背景なども含めて学習していく。また、配色の基本的な考え方を様々な観点から捉え、色彩に対してより理解を深めていく。		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容	授業方法及び学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	色彩調和とは何か	関連するキーワードについて調べて予習する。	4
第2回	色	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第3回	色と個人	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第4回	配色	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第5回	色と食べ物	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第6回	色彩心理	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第7回	ワークショップⅠ - カラーシミュレーション (手描き)	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第8回	色彩とテキスタイル	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第9回	色彩とインテリア	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第10回	動植物から見る色彩	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第11回	絵画から見る色彩	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第12回	色彩から見る民族	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第13回	色彩から見る日本	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第14回	ワークショップⅡ - カラーシミュレーション (パソコン)	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
第15回	まとめと試験	関連するキーワードについて調べて予習する。配布資料などを確認して復習する。	4
教科書・参考書等			
「The Complete Book of Colour」 Suzy Chiazzari 著 Element Books 1998 「色彩演出事典」北島 耀編 Sekisui Interior 1990 「色彩デザイン」南雲 治嘉 グラフィック社 2006 「新・カラーイメージ事典」小林重順 講談社 1993			
成績評価方法・基準			
授業中の質疑および課題レポート (2つ) により評価する。			

デザイン工学専攻 (専門科目)

13	福祉コミュニティデザイン論 GLD531	選択 2単位 後期	
Welfare Community Design			
古山周太郎			
授業形態	単独 (1人が全回担当)		
授業の達成目標	コミュニティに関する学問的な位置づけを理解し、計画分野及び福祉分野の双方の視点からその歴史的な変遷を把握することで、福祉コミュニティの成立に至るプロセスを学ぶ。また、現代の福祉コミュニティの課題を把握し、今後の社会における福祉コミュニティの果たす役割を考察する		
授業の概要	都市における社会的孤立の解消、地方における人口減と高齢化などの解決、持続可能な共生社会やノーマライゼーションの達成に向け、福祉政策は施設ケア型からコミュニティ支援型へとシフトしつつある。本講義では、地域福祉に関する理論の成り立ちや、理論と実践との関係、また実際の事例による課題解決方法を参照しつつ、福祉コミュニティ構築の意義について学んでいく。		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容	授業方法及び学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	近代西欧社会とコミュニティ論	予習：社会学におけるコミュニティ論について、代表的な定義を調べる。復習：授業で提示された以外の研究者のコミュニティの概念について学び、その違いを理解する。	4
第2回	日本の近代化とコミュニティ論	予習：伝統的村落共同体の概念と相互扶助のシステムについて調べる。復習：講義内で提示された農村社会と都市社会の特徴について整理する。	4
第3回	西欧におけるセツルメント運動	予習：産業革命当時のロンドンにおける社会的貧困の内容を調べる。復習：講義内で扱ったセツルメント運動の理念について明確にする。	4
第4回	日本におけるセツルメント運動	予習：賀川豊彦の思想と活動内容について調べる。復習：授業で扱った隣保館事業の内容について整理する。	4
第5回	田園都市論とコミュニティ	予習：E. ハワードの思想と活動内容について調べる。復習：授業で扱った田園都市における福祉的な視点の内容を明確にする。	4
第6回	近隣住区論とコミュニティ	予習：小学校区の決め方や規模について調べる。復習：講義内で説明した近隣住区の空間的要件について明確にする。	4
第7回	近代都市計画におけるコミュニティ	予習：ル・コルビジエの「輝ける都市」について調べる。復習：講義内で扱った「輝ける都市」の空間的要件について明確にする。	4
第8回	コミュニティオーガナイゼーションの理論	予習：アメリカのニューディール政策について調べる。復習：講義内で扱ったアリンスキーの活動方針について整理するにする。	4
第9回	日本における地域組織化	予習：日本の保健所や疾病対策について調べる。復習：講義内で扱った地域組織化の活動方針について整理する。	4
第10回	コミュニティデザインの展開	予習：コミュニティデザインについての文献を読んでくる。復習：授業で提示された環境的公正の考え方を復習する。	4
第11回	日本における地域福祉の展開	予習：地域福祉に関連する組織とその活動について調べる。復習：授業で提示された地域福祉に関する政策的な変遷を復習する。	4
第12回	都市における福祉コミュニティの諸相	予習：都市部の自治体の地域福祉関連政策について調べる。復習：授業で提示された社会的孤立の概念を復習する。	4
第13回	地方における福祉コミュニティの諸相	予習：地方部の自治体の地域福祉関連政策について調べる。復習：授業で提示された地方創生におけるコミュニティ政策の内容を明確にする。	4
第14回	今後の福祉コミュニティのありかた	予習：コミュニティにおける福祉的課題解決における取組事例について調べる。復習：授業で提示された論点について整理し、不確実な部分を明確にする。	4
第15回	まとめと試験	予習：授業内容全体についてまとめる。復習：授業で提示された問題を解き、不確実な部分を明確にする。	4
教科書・参考書等			
平野隆之・原田正樹「地域福祉の展開」放送大学教育振興会、2014年／坂田周一「新・コミュニティ福祉学入門」有斐閣、2013年 ※適宜、関連する資料を配布する。			
成績評価方法・基準			
授業中の質疑および課題レポート 50%、まとめの試験 50%として総合的に評価する。			

14	生態環境とサステナビリティ GLD532	選択 2単位 後期	
	Ecological System and Sustainable Environment		
非常勤講師 向井 康夫			
授業形態	単独 (1人が全回担当)		
授業の達成目標	人間生活をとりまく自然環境および生物界の成り立ちを概括しながら、地域環境の特性・課題を的確に評価することができる。		
授業の概要	デザイン工学およびライフデザインの観点から涵養しておくべき環境学、生態学等の基礎を学ぶとともに、具体的な生活環境や地域福祉のあり方に照らしてその持続性を考察していく。		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容	授業方法及び学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	ガイダンス	予習：身の回りの生態系について考察しておく。 復習：授業で提示された内容を振り返り、不明部分を明確にする。	4
第2回	地球環境と持続可能な開発目標	予習：持続可能な開発目標とは何か調べておく。 復習：授業で提示された内容を振り返り、不明部分を明確にする。	4
第3回	物質循環論	予習：カーボンマネジメントとは何か調べておく。 復習：授業で提示された内容を振り返り、不明部分を明確にする。	4
第4回	気候風土と植生・生態	予習：身の回りの植生について考察しておく。 復習：授業で提示された内容を振り返り、不明部分を明確にする。	4
第5回	森林・草原・農地	予習：身の回りの森林・草原・農地について考察しておく。 復習：授業で提示された内容を振り返り、不明部分を明確にする。	4
第6回	農業土木の歩み	予習：農地の活用管理について考察しておく。 復習：授業で提示された内容を振り返り、不明部分を明確にする。	4
第7回	農村の生物と環境	予習：田んぼの生物について考察しておく。 復習：授業で提示された内容を振り返り、不明部分を明確にする。	4
第8回	都市の生物と環境	予習：都市に住む生物について考察しておく。 復習：授業で提示された内容を振り返り、不明部分を明確にする。	4
第9回	都市緑化と自然公園	予習：身近な公園施設に行き観察しておく。 復習：授業で提示された内容を振り返り、不明部分を明確にする。	4
第10回	こどもと環境教育	予習：環境系の学習教材について調べておく。 復習：授業で提示された内容を振り返り、不明部分を明確にする。	4
第11回	社会と環境倫理	予習：環境倫理について予備考察しておく。 復習：授業で提示された内容を振り返り、不明部分を明確にする。	4
第12回	生物学基礎	予習：生物学の基礎について予習しておく。 復習：授業で提示された内容を振り返り、不明部分を明確にする。	4
第13回	生産現場と人間工学	予習：日常生活道具と人間工学について考察しておく。 復習：授業で提示された内容を振り返り、不明部分を明確にする。	4
第14回	生活環境と地域福祉	予習：支え合う暮らしと生活環境について考察しておく。 復習：授業で提示された内容を振り返り、不明部分を明確にする。	4
第15回	サステナビリティ総論	予習：将来のライフスタイルについて考察しておく。 復習：授業で提示された内容を振り返り、不明部分を明確にする。	4
教科書・参考書等			
講義中に都度、提示する。			
成績評価方法・基準			
授業中の質疑および課題レポート、まとめの提出物から、総合的に評価する。			

15	看護支援デザイン論	GLD533	選択 2単位 後期
	Theory of Nursing Care Support		
准教授 伊藤美由紀			
授業形態	単独 (1人が全回担当)		
授業の達成目標	生活者のQOL (生活の質、人生の質) の維持や向上を目指したデザインするために、現在の社会的背景を理解し、生活や療養をする方とともに家族全体を援助の対象とした支援方法を理解する。		
授業の概要	超高齢化社会において医療や療養の場は病院や施設から一般家庭へと広がっている。家庭での生活療養環境が整備されていく一方でさまざまな課題も存在している。安全かつ快適な生活を支援するためには、生活者 (患者) と医療介護者の連携はもちろん、生活デザイナーとの連携も重要とされる。この講義では、それらの考え方や技術をわかりやすく話す。		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容	授業方法及び学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	高齢化・少子化の進む社会とは	新聞などから少子高齢化問題に関心を持ち情報を集める。復習として少子高齢社会問題を整理する。	4
第2回	地域で療養する人と社会資源	介護保険制度について予習する。復習として具体的な社会資源利用を整理する	4
第3回	基本的な生活支援技術	介護問題について予習する。復習として介護問題について具体例をあげて説明できるように整理する。	4
第4回	療養のための支援技術	自宅療養問題について予習する。復習として療養問題について具体例をあげて説明できるように整理する。	4
第5回	コミュニケーション技術	コミュニケーションについて予習する。復習としてコミュニケーションの取り方を実践してみる。	4
第6回	家族に対する支援	家族が抱える健康問題について予習する。復習として家族の抱える問題を整理する。	4
第7回	生活者や療養者の理解と支援① 高齢者	高齢者について予習する。加齢と老化について復習する。	4
第8回	生活者や療養者の理解と支援② 障害がある人	障害を持つ人について予習する。障害を持つ人への支援について復習する。	4
第9回	生活者や療養者の理解と支援③ 慢性疾患を持つ人	生活習慣病について予習する。日常生活と生活習慣病について復習する。	4
第10回	生活者や療養者の理解と支援④ がんを持つ人	がんについて予習する。日常生活とがんについて復習する。	4
第11回	生活者や療養者の理解と支援⑤ 終末期と死	病气や老いることと死について予習する。生きることと死ぬことについて復習する。	4
第12回	生活者や療養者の理解と支援⑥ 子ども	子どもの生活行動を観察してのぞむ。復習として子どもの行動と発達を関連付けて整理する。	4
第13回	看護や介護する人への支援	在宅介護問題について予習する。復習として介護問題について解決策を考え整理する。	4
第14回	災害時の被災予防支援	災害時の心身の被害について予習する。予防法や対応について復習する。	4
第15回	まとめと試験	生活者のQOLについて予習する。生活者のQOL向上のための支援について復習する。	4
教科書・参考書等			
配布資料による			
成績評価方法・基準			
授業中の質疑および課題レポート、コミュニケーションや支援技術の習得を総合的に評価する。			

デザイン工学専攻 (専門科目)

16	住居史論 GLD541	選択 2単位 前期	
History of Dwelling Houses			
教授 小山 祐司			
授業形態	単独 (1人が全回担当)		
授業の達成目標	遺構や原典資料を解説するための、知識と技能を養う。その上で、居住空間を中心とした空間に対する感性を磨き、その多様性や変容を理解できるようになることを目指す。		
授業の概要	【地域志向科目に該当】 日本における住まいについて、近世の東北地方、就中、宮城県と岩手県の民家遺構（農民住居～侍住居を含む）や文献資料を基に、その間取りを中心とした空間構成についてその多様さや変遷を議論する。本年は、旧仙台領に残る遺構・資料を中心に議論を行う。これらを通して、住まいと地方の風土・文化の関係を考え、より質の高いアメニティーの在り方を考える。		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容	授業方法及び学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	近世民家の架構・間取りの概要について	予習:江戸時代の古民家について参考書などを利用して調べておくこと。復習:配布した講義要録冊子と図版資料を利用して復習すること。	4
第2回	農村民家の概要について	予習:講義要録や参考書を基に、農村の古民家などを調べておくこと。復習:配布した講義要録冊子と図版資料を利用して復習すること。	4
第3回	町家民家の概要について	予習:講義要録や参考書を基に、町家の古民家などを調べておくこと。復習:配布した講義要録冊子と図版資料を利用して復習すること。	4
第4回	武士住宅の概要について	予習:講義要録や参考書を基に、侍住宅の古民家などを調べておくこと。復習:配布した講義要録冊子と図版資料を利用して復習すること。	4
第5回	下手空間の多様性 ー内廬と外廬ー	予習:講義要録や参考書を基に、農村の古民家の廬などを調べておくこと。復習:配布した講義要録冊子と図版資料を利用して復習すること。	4
第6回	居住部分の多様性 ー奥常居と前常居ー	予習:講義要録や参考書を基に、古民家の「茶の間」などを調べておくこと。復習:配布した講義要録冊子と図版資料を利用して復習すること。	4
第7回	上手空間の多様性 ー広間の別棟化と付加ー	予習:講義要録や参考書を基に、古民家における接客空間などを調べておくこと。復習:配布した講義要録冊子と図版資料を利用して復習すること。	4
第8回	藩政期における行政区域について	予習:市町村史や地名辞典などを利用して、仙台藩の概容について調べておくこと。復習:配布された白地図に藩政時代の区域を描き復習すること。	4
第9回	廬の形式とその分布域について	予習:講義要録や参考書を基に、農村古民家の廬形式(南部曲家形式・中門造り形式など)を調べておくこと。復習:配布した講義要録冊子と図版資料を利用して復習すること。	4
第10回	間取り形式よる分布域について	予習:講義要録や参考書を基に、農村の古民家間取りの地域差による傾向を調べておくこと。復習:配布された白地図に各種間取りの分布域を描き復習すること。	4
第11回	奥常居と前常居の分布域について	予習:講義要録や参考書を基に、農村の古民家における「茶の間」配置の地域差による傾向を調べておくこと。復習:配布された白地図に「茶の間」配置の地域差の分布域を描き復習すること。	4
第12回	散村と街村の景観について	予習:講義要録や参考書を基に、農村部と城下町などの町並みについて調べておくこと。復習:配布した講義要録冊子と図版資料を利用して復習すること。	4
第13回	宿場町の景観について	予習:講義要録や参考書を基に、宿場町などの町並みについて調べておくこと。復習:配布した講義要録冊子と図版資料を利用して復習すること。	4
第14回	侍町の景観について	予習:講義要録や参考書を基に、城下町、特に侍町などの町並みについて調べておくこと。復習:配布した講義要録冊子と図版資料を利用して復習すること。	4
第15回	まとめと試験	予習:第14回までの講義内容を復習し試験の準備を行うこと。復習:試験の講評を参考に不十分だった内容を復習すること。	4
教科書・参考書等			
教科書:特に指定しない。教員作成の資料を配布する。 参考書:近世武士住宅 佐藤巧著 叢文社、1985 北上市立博物館調査報告書(第1集～第7集) 東北6県の近世民家緊急調査報告書など			
成績評価方法・基準			
授業中の質疑および課題レポートと調査レポートと試験による評価を行う。			

デザイン工学専攻 (専門科目)

17	生活環境学 GLD542	選択 2単位 前期	
	Advanced Environmental Engineering for Dwelling		
准教授 高木 理恵			
授業形態	単独 (1人が全回担当)		
授業の達成目標	生活空間における熱や空気などの様々な環境要素の形成機構と制御方法を、外部の自然環境との関わりも含めて把握するとともに、それが実は地球規模の環境問題と密接に結びついていることを認識して、より良い生活空間の環境デザイン上の選択と計画が考えられるようになることを目指す。		
授業の概要	私たちの生活空間を取り囲む住まいは、寒さや暑さおよび日射や雨、雪などの外乱から生活空間を守るだけでなく、生活空間内で生じる暖冷房や換気など生活上の様々な挙動から影響を受けている。この外的条件と内的条件を原因とし、そこから得られる室内環境を結果とすれば、この原因と結果の間には多建物条件というインターフェイスが存在して、三者は複雑に絡み合っている。本講では、それらの相互の関係を解きほぐしながら、生活環境の形成機構と制御方法を具体的な事例を交えながら解説する。		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容	授業方法及び学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	ガイダンス	予習として、自分の生活空間における環境要素について調べる。復習として、授業で配布された資料を再読し、講義の目的についておさらいする。	4
第2回	屋外環境	予習として、自分の住まいの屋外環境について調べる。復習として、授業で配布された資料を再読し、屋外環境の形成要因と地域性についておさらいする。	4
第3回	居住環境、シェルターとしての建築、建物の諸機能	予習として、自分の居住環境と住まいについて調べる。復習として、授業で配布された資料を再読し、居住環境の形成要因と建物の諸機能についておさらいする。	4
第4回	熱環境の制御、建築構成材の熱的特性	予習として、自分の生活空間の熱環境について調べる。復習として、授業で配布された資料を再読し、建築構成材の熱的特性を踏まえた熱環境の制御方法についておさらいする。	4
第5回	ふく射熱の制御	予習として、自分の生活空間のふく射熱について調べる。復習として、授業で配布された資料を再読し、ふく射熱の制御方法についておさらいする。	4
第6回	温度と湿度の制御	予習として、自分の生活空間の温度と湿度について調べる。復習として、授業で配布された資料を再読し、温度と湿度の制御方法についておさらいする。	4
第7回	気流の制御	予習として、自分の生活空間の気流について調べる。復習として、授業で配布された資料を再読し、気流の制御方法についておさらいする。	4
第8回	換気と室内空気質	予習として、自分の生活空間の換気と空気質について調べる。復習として、授業で配布された資料を再読し、換気による室内空気質の制御方法についておさらいする。	4
第9回	採光と照明	予習として、自分の生活空間の光環境について調べる。復習として、授業で配布された資料を再読し、採光と照明による光環境の制御方法についておさらいする。	4
第10回	音の制御	予習として、自分の生活空間の音環境について調べる。復習として、授業で配布された資料を再読し、音環境の制御方法についておさらいする。	4
第11回	水の供給と廃棄	予習として、自分の生活空間の水環境について調べる。復習として、授業で配布された資料を再読し、水の供給と廃棄の方法についておさらいする。	4
第12回	エネルギーの供給	予習として、自分の生活空間で使用されているエネルギーについて調べる。復習として、授業で配布された資料を再読し、省エネルギーの方法についておさらいする。	4
第13回	施工、維持管理	予習として、自分の生活空間の維持管理状況について調べる。復習として、授業で配布された資料を再読し、施工方法および維持管理の必要性についておさらいする。	4
第14回	建物の構成	予習として、自分の生活空間を形成する建物の構成について調べる。復習として、授業で配布された資料を再読し、より良い生活空間の環境デザインを実現する建物の構成についておさらいする。	4
第15回	まとめ	予習として、全ての授業内容を整理する。復習として、課題をレポートにまとめる。	4
教科書・参考書等			
資料を配布する。			
成績評価方法・基準			
資料を配布する。			

18	地域居住と防災減災 GLD543		選択 2単位 後期
	Regional Housing and Disaster Management		
教授 小山 祐司 准教授 畠山 雄豪			
授業形態		オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)	
授業の達成目標		地域性と多様性の両面からみた居住計画をめぐる現状を把握するとともに、防災減災や安全安心生活をめざした施策・実践事例の成果と課題を考察・評価できる。	
授業の概要		地域の居住様式を念頭に置きながら、災害発生、応急対応のしくみなどを、グループディスカッションなどを通して考えていく。また、防災減災の観点から、今後の地域居住のあり方を再考していく。	
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容	授業方法及び学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	ガイダンス	予習：東北の暮らしについて予備考察をしておく。 復習：講義で触れた内容や遺構の講義計画を念頭におき、参考図書を読む。	4
第2回	東北農山漁村地域の居住形態	予習：東北の民家・集落形態について予備考察をしておく。 復習：講義で触れた内容を再読し、不明点を明らかにする。	4
第3回	東北の災害史概略	予習：東北の災害史について予備考察をしておく。 復習：講義で触れた内容を再読し、不明点を明らかにする。	4
第4回	東日本大震災について	予習：東日本大震災について予備考察をしておく。 復習：講義で触れた内容を再読し、不明点を明らかにする。	4
第5回	災害救助法と応急仮設住宅	予習：災害救助法について予備考察をしておく。 復習：講義で触れた内容を再読し、不明点を明らかにする。	4
第6回	災害公営住宅と防災集団移転促進事業	予習：復興事業について予備考察をしておく。 復習：講義で触れた内容を再読し、不明点を明らかにする。	4
第7回	国土保全と基盤整備	予習：基盤整備事業について予備考察をしておく。 復習：講義で触れた内容を再読し、不明点を明らかにする。	4
第8回	農山漁村における生業・産業の構造	予習：地域産業構造について予備考察をしておく。 復習：講義で触れた内容を再読し、不明点を明らかにする。	4
第9回	都市施設における避難と仮設住宅	予習：都市施設の避難計画について予備考察をしておく。 復習：講義で触れた内容を再読し、不明点を明らかにする。	4
第10回	防災訓練と実効性	予習：防災訓練について予備考察をしておく。 復習：講義で触れた内容を再読し、不明点を明らかにする。	4
第11回	防災減災の都市計画	予習：防災減災と都市計画について予備考察をしておく。 復習：講義で触れた内容を再読し、不明点を明らかにする。	4
第12回	防災減災施設について	予習：防災減災施設について予備考察をしておく。 復習：講義で触れた内容を再読し、不明点を明らかにする。	4
第13回	防災減災と情報伝達	予習：防災減災と情報伝達について予備考察をしておく。 復習：講義で触れた内容を再読し、不明点を明らかにする。	4
第14回	防災減災をめぐる地域居住の課題	予習：地域居住について予備考察をしておく。 復習：講義で触れた内容を再読し、不明点を明らかにする。	4
第15回	これからの地域居住	予習：地域居住について予備考察をしておく。 復習：講義で触れた内容を再読し、不明点を明らかにする。	4
教科書・参考書等			
教科書：特に指定しない。教員作成の資料を配布する。			
成績評価方法・基準			
課題レポート 50%、まとめの試験 50%で評価する。			

19	インターンシップ GLD571	選択 2単位 1年前期～2年後期 集中
Internship		
専攻長 大沼 正寛		
授業形態	その他	
授業の達成目標	デザイン工学の各専門分野に関連した、開発、設計、生産、商品企画、造形などの実務の一端を経験し、実務におけるデザイン工学の役割とその意義を学ぶと同時に、職業意識や倫理観を学ぶ。	
授業の概要	専門分野に関連した実務現場において一定期間の研修をすすめ、職業意識や倫理観を学びながら、その遂行の方法・体制・環境等を把握する。指導にあたっては、当専攻の教育内容と整合する実務者の協力を得る。	
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップを受諾し、かつ指導教員が研修先として適当と認めた企業・機関で研修を行う。 ・研修プログラムの内容および実施方法は原則として受け入れ先に任される。受け入れ先には事前に専攻長から教育プログラムの作成を依頼し、その内容について指導教員による十分な準備教育を経た後、実施先での研修を開始する。 ・2単位のための研修時間は90時間以上とする。ただしこの90単位には、研修前後の指導教員による事前準備やレポート作成指導等の指導時間も含まれる。 ・インターンシップ中は個人での保険加入を義務付ける。 ・インターンシップには原則として報酬は支払われない。また、交通費等も全額研修生の自己負担を原則とする。 ・作成した研修レポートは、先にインターンシップ先に提出し、公開可能な部分についての承認を受ける。専攻への提出レポートは公開可の部分のみとし、不可部分についてはその旨の記述に止める。 	
教科書・参考書等	インターンシップ受け入れ先の指示による。	
成績評価方法・基準	研修レポートと受け入れ先からの報告書をもとに、指導教員が評価する。受け入れ先の教育プログラムにどれだけ応えられたかを評価の基準とする。	

20	大学院の英語 I GLD581		選択 (Optional subject) 2単位 (Two credits) 前期 (First semester)
	English Communication I (Graduate Course)		
准教授 クック サイモン ダニエル			
授業形態		単独 (1人が全回担当)	
授業の達成目標			
Students will learn the skills which will enable them to use English with confidence. Full participation in this class will reward the student with confidence in English to help them succeed in a world in which being able to use English is highly regarded. Students will be expected to work with other students in the class, creating a collaborative environment for all class attendees.			
授業の概要		【アクティブラーニングに該当】	
The course will focus on speaking and listening but will include activities which use all four English skills. English vocabulary and grammar exercises will be presented in an engaging way. Each week, students will be required to actively participate in a variety of both group-based activities and self-assessment tasks.			
授業計画 (各回の学習内容等)			時間(時)
第1回	学習内容 授業方法及び学習課題(予習・復習)	Introduction to the course. Look at the introduction and Unit 1. Preparation for vocabulary test and English grammar and language exercises. The importance of speaking English and creating a collaborative environment. Student self-introduction in the form of their first presentation.	4
第2回	学習内容 授業方法及び学習課題(予習・復習)	Looking at the organisation of a presentation and the contents of the introduction of a presentation. Grammar: tenses 1. Weekly presentation in groups. Vocabulary test and English grammar and language exercises. Transcription exercise 1.	4
第3回	学習内容 授業方法及び学習課題(予習・復習)	Looking at useful language and vocabulary in a presentation. Introduction to shadowing. Grammar: tenses 2. Weekly presentation in groups. Vocabulary test and English grammar and language exercises. Pair and group shadowing exercises.	4
第4回	学習内容 授業方法及び学習課題(予習・復習)	Looking at useful language and vocabulary in a presentation 2. Grammar: Using English prepositions. Weekly presentation in groups. Vocabulary test and English grammar and language exercises. Pair and group practice of using prepositions. Transcription exercise 2.	4
第5回	学習内容 授業方法及び学習課題(予習・復習)	Preparing for your first presentation - choosing a topic. Grammar: Asking questions 1. Weekly presentation in front of group. Vocabulary test and English grammar and language exercises. Preparation for first presentation.	4
第6回	学習内容 授業方法及び学習課題(予習・復習)	Making a good impression 1a. Looking at posture and eye-contact. Students give first large presentation. Grammar: asking questions 2. Weekly presentation in groups. Vocabulary test and English grammar and language exercises. Students watch and learn from other's presentations. Practice of asking questions in English.	4
第7回	学習内容 授業方法及び学習課題(予習・復習)	Looking more at the importance of posture and eye contact. Checking good and bad points of previous week's presentation. Getting and giving peer feedback. Weekly presentation in groups. Vocabulary test and English grammar and language exercises. Understanding and giving constructive feedback from/to peers. Transcription exercise 3.	4
第8回	学習内容 授業方法及び学習課題(予習・復習)	Making a good impression 2a. Using gestures 1. Grammar: phrasal verbs 1. Weekly presentation in groups. Vocabulary test and English grammar and language exercises. Practice giving presentation using gestures.	4
第9回	学習内容 授業方法及び学習課題(予習・復習)	Making a good impression 2b. Grammar: phrasal verbs 2. Preparing for second presentation - choosing a topic. Weekly presentation in groups. Vocabulary test and English grammar and language exercises. Preparation for second presentation. Transcription exercise 4.	4
第10回	学習内容 授業方法及び学習課題(予習・復習)	Making your point 1a. Giving second large presentation. Talking about different types of presentation. Looking at the body section of the presentation. Looking at organising information. Grammar: phrasal verbs 3. Weekly presentation in groups. Students watch and learn from other's presentations. Vocabulary test and English grammar and language exercises.	4
第11回	学習内容 授業方法及び学習課題(予習・復習)	Making your point 1b. Signposting (transition phrases and sequencers). Using visual aids. More useful vocabulary and language. Weekly presentation in groups. Vocabulary test and English grammar and language exercises. Transcription exercise 5. Understanding and giving constructive feedback from/to peers. Thinking about final presentation topics.	4
第12回	学習内容 授業方法及び学習課題(予習・復習)	Making your point 2a and 2b. Looking at the body section of the presentation again. Grammar: prepositions. Preparing for final presentations. Weekly presentation in groups. Vocabulary test and English grammar and language exercises. Looking again at previous presentations and examples of good presentations. Time given for students to work on and practice for final presentations.	4
第13回	学習内容 授業方法及び学習課題(予習・復習)	Final presentation and Speaking test. Final presentation and Speaking test.	4
第14回	学習内容 授業方法及び学習課題(予習・復習)	End of semester test End of semester test. Written test of studied English grammar sections.	4
第15回	学習内容 授業方法及び学習課題(予習・復習)	Review of the semester / exam retake class. Review of the semester / exam retake class.	4
教科書・参考書等			
English Presentations Today アクティビティで学ぶ英語プレゼン術 ISBN 9784523178644 定価 本体 2,000 円+税 南雲堂			
成績評価方法・基準			
Final grammar test – 30% Presentation 1 – 10% Presentation 2 – 10% Speaking test – 10% Transcription exercises – 10% Final presentation – 30%			

21	大学院の英語Ⅱ GLD582	選択 (Optional subject) 2単位 (Two credits) 後期 (Second semester)
	English Communication II (Graduate Course)	
准教授 クック サイモン ダニエル		
授業形態 単独 (1人が全回担当)		
授業の達成目標		
As with the first semester, this semester aims to inspire the students to work hard at improving their English skills, enabling them to use English with confidence. Full participation in this class will reward the student with confidence in English to help them succeed in a world in which being able to use English is highly regarded. Students continuing on from the first semester will be expected to continue to work with other students in the class, creating a collaborative environment for all class attendees.		
授業の概要 【アクティブラーニングに該当】		
As in the first semester, the course will focus on speaking and listening but will include activities which use all four English skills. English vocabulary and grammar exercises will be presented in an engaging way. Each week, students will be required to actively participate in a variety of both group-based activities and self-assessment tasks.		
授業計画 (各回の学習内容等)		
		時間(時)
第1回	学習内容 Going over what we learned in the first semester, such as classroom language and talking about areas for improvement in both presentations and classroom participation. 授業方法及び学習課題(予習・復習) Weekly presentation in groups. Vocabulary test and English grammar and language exercises.	4
第2回	学習内容 Being understood 1a. Looking at useful vocabulary used in a presentation. Grammar: reporting speech 1. Checking classroom language and good classroom participation practice. 授業方法及び学習課題(予習・復習) Weekly presentation in groups. Vocabulary test and English grammar and language exercises. Transcription exercise 1.	4
第3回	学習内容 Being understood 1b. Looking at using your voice and intonation when speaking. Grammar: reporting speech 2. 授業方法及び学習課題(予習・復習) Weekly presentation in groups. Vocabulary test and English grammar and language exercises. Trying to use learned useful vocabulary used in a presentation.	4
第4回	学習内容 Being understood 2a. Looking at sentence stress. Grammar: Articles, determiners and quantifiers 1. 授業方法及び学習課題(予習・復習) Weekly presentation in groups. Vocabulary test and English grammar and language exercises. Transcription exercise 2. Looking again at and practicing using your voice and intonation when speaking.	4
第5回	学習内容 Being understood 2b. Looking more at using your voice in your presentation. Preparing for your first presentation - choosing a topic. Grammar: Articles, determiners and quantifiers 2. 授業方法及び学習課題(予習・復習) Weekly presentation in groups. Vocabulary test and English grammar and language exercises. Preparation for first presentation. Looking again at and practicing use of stress when presenting and speaking in English.	4
第6回	学習内容 Concluding your message 1a. Organising your conclusion. Giving your first presentation. 授業方法及び学習課題(予習・復習) Weekly presentation in groups. Vocabulary test and English grammar and language exercises. Students watch and learn from other's presentations. Looking again at effective ways of using your voice when speaking and presenting in English.	4
第7回	学習内容 Concluding your message 1b. Grammar: Organising information 1. Looking in more detail at the contents of an effective conclusion. 授業方法及び学習課題(予習・復習) Weekly presentation in groups. Vocabulary test and English grammar and language exercises. Understanding and giving constructive feedback from/to peers. Transcription exercise 3.	4
第8回	学習内容 Concluding your message 2a. Grammar: Organising information 2. Using concluding phrases. 授業方法及び学習課題(予習・復習) Weekly presentation in groups. Vocabulary test and English grammar and language exercises. Looking again at the contents required for an effective conclusion.	4
第9回	学習内容 Concluding your message 2b. Grammar: Adjectives and adverbs 1. Preparing for your second presentation - choosing a topic. 授業方法及び学習課題(予習・復習) Weekly presentation in groups. Vocabulary test and English grammar and language exercises. Preparation for second presentation. Transcription exercise 4.	4
第10回	学習内容 Taking questions 1a. Giving your second presentation. Asking and answering questions. 授業方法及び学習課題(予習・復習) Weekly presentation in groups. Students watch and learn from other's presentations. Vocabulary test and English grammar and language exercises.	4
第11回	学習内容 Taking questions 1b. Grammar: Adjectives and adverbs 2. Hedging (using polite language). More useful vocabulary and language. 授業方法及び学習課題(予習・復習) Weekly presentation in groups. Vocabulary test and English grammar and language exercises. Transcription exercise 5. Understanding and giving constructive feedback from/to peers. Thinking about final presentation topics	4
第12回	学習内容 Overview of all sections of the presentation. Preparation for final presentation 授業方法及び学習課題(予習・復習) Weekly presentation in groups. Vocabulary test and English grammar and language exercises. Looking again at previous presentations and examples of good presentations. Time given for students to work on and practice for final presentations.	4
第13回	学習内容 Final presentation and Speaking test. 授業方法及び学習課題(予習・復習) Final presentation and Speaking test.	4
第14回	学習内容 End of semester test. 授業方法及び学習課題(予習・復習) End of semester test. Written test of studied English grammar sections.	4
第15回	学習内容 Review of the semester / exam retake class. 授業方法及び学習課題(予習・復習) Review of the semester / exam retake class.	4
教科書・参考書等		
English Presentations Today アクティビティで学ぶ英語プレゼン術 ISBN 9784523178644 定価 本体 2,000 円+税 南雲堂		
成績評価方法・基準		
Final grammar test – 30% Presentation 1 – 10% Presentation 2 – 10% Speaking test – 10% Transcription exercises – 10% Final presentation – 30%		